

## まずは学校にある機器でできることを知ろう！ カメラ・パソコン・タブレット・デジタル教科書で何ができる？

教科で授業力を強化しよう（第1回／全2回）

### ◆ 主な流れ（参考時間 15 分間）

#### 1 導入【約2分】

- ・研修のねらいを説明する。（右記例参照）

#### 2 ビデオの視聴【約10分】

- ・それでは、先生方お一人お一人に、ご自分の授業のどの場面でICT機器を活用できそうか考えていただきます。
- ・イメージのヒントになればと、前の画面には宮城県で作成したMIYAGI Style の紹介映像を流しますので、ご覧になりながらイメージを膨らませてください。

#### 3 討議【約2分】

- ・ワークシートのチェック項目にチェックを入れ、できることを簡単におさらいしましょう。

#### 4 まとめ【約1分】

- ・以上で、第1回のICT研修は終了となります。2回目は教科ごとの話し合いをお願いします。今日考えたタブレット端末の活用イメージを基に、授業で実践できることをお話し合いいただきます。
- ・話し合いまでに、次の2つのホームページをご覧ください。「話し合いが進むと思いますのでご覧ください。」「なお、本日もご覧の宮城県で作成したMIYAGI Style の紹介映像はYouTubeに公開されていますので、都合の付くときに改めてご覧ください。」

「今日の授業タブッ ciao！」（タブレット端末活用実践ポイント集）

「+（プラス）タブレ」（タブレット端末活用実践動画集）

#### 導入の（例）

学校に一人置くこととされている『情報化推進リーダー』は授業のICT化についての役割も担うこととされています。

そこで本日はこのような会を設けさせていただきました。

今回は全体でイメージをなんとなく掴むこと、2回目は教科でより具体的な実践方法を考えていただくという、2回の研修とさせていただきます。ICTはあくまでも授業のねらいに迫るための1つのツールであり、必ず使わなければならないわけではありません。

『使わない』のと『使えない』のとでは意味が違います。まずは、どんなことができるのか、指導の見直しのご参考にしていただけたらと思います。

## ワークシート

氏名：

(1) MIYAGI Style の I C T活用ビデオを見て感じたことを書いてみよう。

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
---------------------------------

(2) 現在、企業でもプレゼンテーションソフト離れが始まっている。I C T活用の流れも、より簡単に考えてみよう。

の中にチェックを入れよう

プロジェクターまたは大型テレビがある



YES



NO



カメラがある

パソコンがある

タブレットがある

デジタル教科書がある

三脚を使うと  
教材提示装置を  
大きく映せる

作ったプリント  
が  
大きく映せる

その場で撮った  
写真も  
大きく映せる

カメラで撮らなくても  
教科書を持たずに教室へ  
何かの機能が付いてい  
る？！

机間巡視しながら  
黒板に書ける

生徒のノートも  
大きく映せる  
拡大装置と同じ

作ったプリントが  
大きく映せる

\*MIYAGI Style の紹介映像は YouTube に公開されていますので、都合の付くときに改めてご覧いただけます。

\*授業活用で参考となるサイト

①「今日の授業タブッ ciao！」（タブレット端末活用実践ポイント集）

②「+（プラス）タブレ」（タブレット端末活用実践動画集）